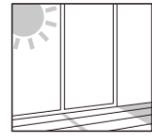




ご使用前にこの説明書をよくお読みください。また、この説明書は大切に保管してください。※修理・お手入れ・取扱い・工事などのご相談はまずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。

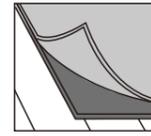
熱や乾燥によるひび割れや目すきを起こしにくくするために。



直射日光

サッシまわりなど直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光が当たらないようにしてください。

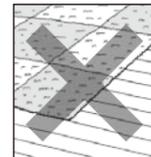
※天然木の床・床造作材は時間経過とともに変色します。その変化は太陽光を受ける条件や樹種によって異なります。ご了承願います。



ホットカーペットなど

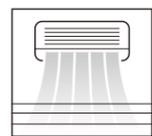
ホットカーペットや温風ヒーターなどをご使用の際は、目すき、表面ひび割れ、変色、フクレなどの原因となりますので、カーペットなどの下敷きをするなど、床表面に熱が伝わらないようにご使用ください。(木質材料のため温度・湿度により、床材の継ぎ目にすき間が生じることがあります。これは木材本来の性質によるものです。)

※滑り止め機能付や滑り止め加工を施した製品(シート、カーペット、マット、ゴム等)をご使用になる時は、裏面材の成分が溶出して床材表面に付着したり、変色やつや変化を生じさせるおそれがあります。



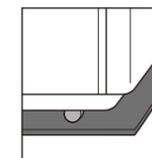
床暖房

床暖房ご使用の場合は、床暖房の取扱い説明書の使用上の注意事項をお守りください。使い方を誤ると低温やけどや床に釘を打つと思わぬ事故や故障の原因になることがあります。床暖房運転時にカーペットなどで表面を覆うと、放熱が妨げられ暖房効率が悪くなったり、熱がこもって床材をいためやすくなりますので、何も敷かないでください。



エアコンなど

エアコンや強制排気型の暖房装置などを連続使用する場合は、床材の水分変化で、継ぎ目にすき間や表面にひび割れを生じますので、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45～70%です。

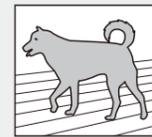


大型冷蔵庫など

大型冷蔵庫や温風ヒーターの熱風が床表面に直接当たらないようにしてください。

ペット対応の床材について

- ペット(小型犬)の歩行に対してすべりにくい仕様です。
- 走り回ったり、急な動作(飛び出し、停止、方向転換等)の場合はすべることがあります。
- ツメや肉球まわりの毛のお手入れをおこたると、歩行時でもすべることがあります。
- ワックスは不要です。お客様のご都合でワックスがけされますと、表面の性能がワックスの性能になり、本来のすべり性能を損ないます。
- 床表面に油分や汚れが付着するとすべりやすくなります。住居用洗剤を含ませ固く絞った雑巾で拭き取ってください。
- 使用環境や使用期間により、表面が摩耗され、性能が低下して、すべりやすくなる可能性があります。
- 同一面に他のフローリングがあると、すべり抵抗の違いによりペットや人が滑ったり、つまづいたりする場合がありますのでご注意ください。
- 傷がつきにくい仕様ですが、つかないわけではありません。ペットのツメなどで床材の表面が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。
- 一般床に比べて耐アンモニア性に優れていますが、ペットの排泄物を放置しますと変色など不具合の原因となりますので、固く絞ったぬれぞうきんで、すぐに拭き取ってください。
- ※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。



日常のお手入れについて

- 日常のお手入れは乾いた布で拭き取ってください。砂粒など硬いごみが付着したまま拭くと床材の表面を傷つけるおそれがありますので、ご注意ください。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれぞうきんで拭き取ってください。汚れに応じて中性洗剤などを使用し、洗剤をきれいに拭き取ってください。
- ※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。
- 掃除機がけをする際は、掃除機のヘッドやブラシに硬いごみなどが付着したまま使用すると床材の表面を傷つけるおそれがあります。ご注意ください。
- シンナー等の溶剤は使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の場合は、ドライタイプをおすすめします。ウェットタイプは薬剤の種類によって表面の変色など不具合の原因になるおそれがあります。



ワックスがけについて

- ノンワックス仕様の床材はワックスがけの必要はありません。お客様のご都合でワックスがけされる場合は下記に準じてください。ワックスがけをされますと、表面がワックスの性能になり、本来の性能を損なう場合があります。
- ワックスはリンレイ社の『ハイテックフローリングコート』をご使用ください。
- ご使用の際は、直接床にまかず、布などに染み込ませて薄くムラなく塗布してください。表面フクレなどの原因となります。
- ワックスの使用方法を誤ると床材表面に異常を起こす場合がありますので、その他の使用方法については、容器記載の使用法をよくお読みください。
- ワックスはく離剤は表面材を傷める原因となりますので、使用しないでください。
- 気温が低い時にワックスを塗布したり、ワックス塗布面にお湯などをこぼすと、ワックスが白化する場合があります。白化した場合は、ワックスを除去してください。

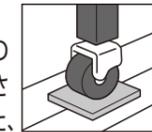


※木質床材は本質的に水気を嫌います。スチームを使ったお手入れや水濡れ、ワックスの塗布量が多いと、フクレやハガレ、変色などの原因となります。

傷・へこみ・破損などを防ぐために。

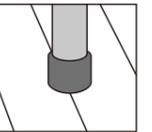
ピアノなど

ピアノなどの重量物を置く場合は根太や下地の補強をした上で、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き重量を分散させてください。また、移動させる時は、引きずらないでください。



イスの足など

イスの足にゴムキャップやフェルトなどをつけると床表面の傷つきを防げます。
※ゴム製の保護材は種類によって表面に色移りする場合があります。浸透して色移りすると除去できませんので、ご注意ください。



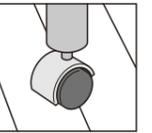
土足

上履用ですので土足での使用はお避けください。



キャスター

キャスター付きのいすなどを繰り返しご使用になりますと、床表面を傷つけます。ご使用を避けるか、カーペット等を敷いてご使用ください。耐キャスター性を高めた床材もございますが、傷やへこみが見つからないわけではありません。過度の荷重にはご注意ください。
※金属製や球形状のキャスターはご使用をお避けください。傷やへこみが発生しやすくなります。



シミ・フクレ・変色などを防ぐために。

水やしょう油、洗剤など

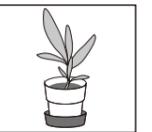
水やしょう油、洗剤などをこぼした場合は、すみやかに拭き取ってください。放置すると表面の色あせまたはシミ・カビによる黒ずみ・腐れ、フクレなどの原因となります。



※目地部分を強くこすると、色落ちする場合がありますので、ご注意ください。

観葉植物

観葉植物などの鉢には、必ず水受け用の皿などを敷いてご使用ください。



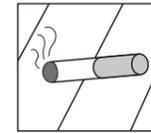
台所・洗面所周辺

耐水性を高めた床材でも、台所や洗面所周辺など、水廻りの場所ではマットを敷いて保護してください。



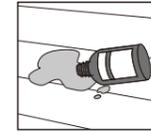
タバコ

火のついたタバコを落とした場合は、すぐに取り除いてください。こげ跡がのこります。



毛染め剤、靴墨など

毛染め剤、パーマ液、靴墨などの汚れはとれません。使用する場合には、必ず床の上にビニールなどのカバーをしてください。



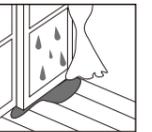
窓や掃き出しサッシ

窓や掃き出しサッシからの雨の吹き込みに注意してください。表面が濡れた場合は、すぐに拭き取ってください。



結露

結露による水滴などに注意してください。長期にわたり結露の水分が床に吸収されると、シミや波打ちが起こる場合があります。



虫害について

小さな穴があいて木の粉が出てくるなどの現象は、木部についた虫害と考えられます。万一発生した場合は専用薬剤を注入するなど早期対応が必要です。専用薬剤はホームセンターなどでお求めいただけますが、処理専門業者にご相談されることをおすすめいたします。

ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします。
当社では商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、日常的に通気や換気をこまめに行ってください。特に、新築住宅やリフォーム直後には十分な換気をお願いします。また、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。夏場や長時間密閉した後は、特に気をつけてください。